

令和7年度「地方創生に資する金融機関等の 特徴的な取組事例」で表彰を受けました

コミュニティ・バンク京信（法人名：京都信用金庫、本店：京都市下京区、理事長：柿田 隆之）は、地域活性化事業「東海道五十七次を核とした広域連携型地域課題解決支援」が、令和7年度「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」として、内閣府より表彰を受けましたので、お知らせいたします。

当金庫は今後も、地域社会の繁栄とお客様のゆたかなくらしをサポートし、地域の皆様と共に新たな価値の創造に努めてまいります。

記

1. 「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」について

本表彰は、金融機関等の地方創生に資する取組のうち、地方公共団体等と連携している事例や、特に先駆性のある事例などを表彰しています。本年度は、当金庫の取組を含め8の事例が表彰されました。

2. 表彰内容

当金庫、枚方信用金庫、京都中央信用金庫、大阪シティ信用金庫が連携し、江戸時代に整備された東海道のうち、天津宿以降の四宿場（伏見宿・淀宿・枚方宿・守口宿）と大阪の高麗橋エリアを対象に、地域の歴史文化資源を活用した、複合的な地域課題を包括的かつ持続的に解決を目指す取組。

〈具体的な取組内容〉

「東海道五十七次」を核として、地域産業の衰退、高齢化、防災機能強化、交流人口の減少など複合的な地域課題を解決するため、信用金庫・地域事業者・行政機関・商工会議所等のステークホルダーと連携し、舟運事業（淀川舟運の復活）やウォーキングイベントなどの事業を推進。

3. 表彰日

2026年3月13日（金）



表彰式の様子

以上